

旭志支部長

なかむら とおる

中村 徹

プロフィール

- 就農年数 18年目
- 生産品目
酪農:搾乳牛40頭、育成30頭
米:70a
- 妻 みゆきさんと夫婦で経営。
高2、中3、中1、小2の
4人のパパ。



活動を通じて 地元へ 恩返ししたい



父が他界し後継者として 就農を決意

本年度より旭志の支部長をしております。青壮年部の盟友のみなさんと一緒に良い組織づくりに向けて頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私は酪農を営む家に生まれました。小・中学校時代は家の仕事を手伝っていましたが、高校は剣道に打ち込み、寮生活を送っていました。私が高校3年生の時に父が他界したため、後継者として就農することを決意しました。卒業後は家に来てくれた獣医さんの紹介で栃木県に行き、1年間研修しました。その後、母と二人で経営していました。現在は、4人の子どもにも恵まれ、仕事も子育ても妻と二人三脚で協力しながら頑張っています。今後、搾乳牛の頭数を増やし経営規模の拡大を考えています。

牛は敏感な生き物です。エサが変わったりすると体調に変化が見られることもあります。しっかり観察しながら管理しています。特に夜中の分娩は、カメラで様子を確認したり注意が必要です。休みはほぼありませんが、子どもの剣道の試合を観に行くのが週末の楽しみです。子どもの行事などで外

出するときは、酪農ヘルパー利用組合にお世話になっています。



青壮年部の先輩の ありがたい言葉

就農と同時に青壮年部に入りました。当時の私は、あまり真剣に農業に向き合っていませんでした。若かったため、母に甘えていたんだと思います。そんな中、当時の青壮年部の集まりで先輩方の経営に対する姿勢や熱意に影響を受け、経営に対する意識が高まったことが印象に残っていますね。時には、喝を入れられたりしましたが…(笑)。今となっては、自分のことを思ってくれてのあ

りがたい言葉だったなあと、感謝の気持ちでいっぱいです。

旭志支部は31名(肉牛20名、酪農10名、その他1名)で活動をしています。6月に父の日に牛乳(ちち)を贈ろうキャンペーンで保育園児へ牛乳の贈呈、小学校の卒業記念で国産牛ハンバーグや乳飲料の贈呈、ファームステイでホスト農家として中学生の受け入れなど、地元の子どもたちとの交流を大切にしています。私も子どもの頃体験してきたので、地元への恩返しの気持ちで関わっていきたいと思います。

先輩方が築かれてきた伝統を守りながら、若い世代が参加しやすいような雰囲気づくりに取り組みたいです。みなさん、楽しく一緒に活動していきましょう！



生後1日の子牛を娘・めいさんと観察